

★【Q&A】 放射性物質への対策 ★

放射線被曝には外部被曝と内部被曝の2種類があります。

外部被曝とは、レントゲン検査など体の外から放射線を浴びることで、内部被曝とは、大気中や食品などから放射性物質を体内に取り込むことです。

体内に取り込んだ放射性物質は、甲状腺など特定の組織に結合してしまうと、体外に排出することが難しくなり、若年層ほど健康被害のリスクを増大させてしまいます。

外部被曝を最小限に抑えることはもとより、外部被曝から内部被曝に転じるのを防ぐ、即ち体内に取り込まないことや体内に取り込んだものを速やかに排出することが重要です。

Q：トリニティーは放射性物質を分解したり除去できますか？

A：そもそも放射性物質は入手することができませんので、分解性の試験等を実施したことはありません。トリニティーが放射性物質を直ちに分解したり除去できるとは決して断定できませんが、何らの効果は期待できると考えています。

Q：放射線被曝に対して環境改善水トリニティーを室内に散布することは有効でしょうか？

A：トリニティーが大気中に浮遊する放射性物質を吸着することにより、口や鼻から吸い込むこと(経気道曝露)による内部被曝を防ぐことは可能と考えています。

Q：トリニティー活水器 水清水(みずきよめ)で水に含まれる放射性物質を除去できますか？

A：水道水に含まれる放射性物質を活性炭やトリニティーセラミックで吸着して、口から体内に取り込むこと(経口曝露)による内部被曝を防ぐことは可能と考えています。

Q：カルシストで洗浄すれば野菜に付着した放射性物質を除去できますか？

A：カルシストやエルフィンの主成分である化石サンゴは、多孔質な構造とイオン交換能により重金属類を物理的に吸着する効果に大変優れています。カルシストやエルフィンで野菜などの食品の表面に付着した放射性物質を吸着除去して、経口曝露による内部被曝を防ぐことは可能と考えています。

Q：カルシストXや天地清浄(てんちきよめ)で体内の放射性物質を排除できますか？

A：体内に取り込んだ放射性物質は、甲状腺など特定の組織に結合してしまうと、体外に排出することが難しくなりますので、速やかに排出することが重要です。

チェルノブイリの原発事故の際、天然ゼオライトが子供たちや乳牛のデトックスを目的に利用されたことを鑑みても、カルシストXや天地清浄(てんちきよめ)は、体内に取り込んだ放射性物質の排出に有効であると考えています。

Q：衣類に付着した放射性物質はエルフィンで洗浄すれば除去できますか？

A：エルフィン主成分である化石サンゴは、多孔質な構造とイオン交換能により、衣類に付着した放射性物質を吸着除去することは可能と考えています。

(株)環境保全研究所

